

フルイ
故きを温ねて 新しきを知る
イルフ

いるふの扉2

「おかやよいとく」

区のじまん、区のタカラ

『イルフ』とは「古い(フルイ)」の反対で「新しい」という意味の武井武雄による造語です。

【其の十九】中屋区

お不動さま

木喰仏「拝瀧不動明王」

目を見開き、2本の牙をむく憤怒の相貌。燃えさかる火炎を背負い、岩間から流れ落ちる滝に片足を踏み出し迫る勇ましさ。その量感と威厳に、魔を屈服させる使命、人々を導き救済する決意をみなぎらせる不動尊。これは、江戸時代後期の1806年に、かの木喰上人によって造られたもので、長地鎮の地名の由来、鎮社に隣接する不動堂内に、長らく秘仏として祀られていました。背中の銘文には「木喰八十九歳、文化三年寅年五月二十日」と墨書で記されています。

木喰仏は、木喰上人の没後1世紀以上経った大正時代に、民芸運動の



高さ79センチ、胴回り35センチ。美しい朱の彩色は、200年の歳月をしのいで、今も鮮やか。木喰仏ではめずらしい怒りの形相は、山(出水)を鎮めるためとも伝えられている

推進者として知られる柳宗悦によって偶然発見され、紹介されました。素材で簡潔な造形、親近感のわく円満そのもののほほえみ、現代彫刻を思わせる斬新なデフォルメ、個人所蔵の多さなどから、注目を集めるようになったといえます。

秘仏から公開へ

木喰の足跡が明らかになるなか、教育関係者らによる歴史の調査もあつて、中屋にも木喰仏があることがわかると、ある家からは、150人ほどの村人の名前が連なる寄付帳が見つかり、それが木喰上人作の拝瀧不動明王を納める厨子を造るための寄付と判明。作仏以来、不動堂内にむき出しで置かれていたお不動さまが、1830(天保元)年、厨子のなかに納められたことがわかりました。



中屋区公民館
☎28-6560

中屋区：世帯数 614戸
人口 1,650人
(平成23年10月31日現在)



久しぶりのわが家に里帰りし厨子に収まるお不動さま



左から高木美彰区長、区の歴史に明るく昔の資料などを見せてくれた小松岳夫さん、山田幸作副区長、供花に駆けつけてくれた高木禮子さん

大正15年、一連の調査によって日目を見た秘仏は、真新しいと思えるまでの汚れのなさで、秀作ぞろいの木喰仏のなかでも、傑作中の傑作と評されたものの、一度も開けたことのないなかつた厨子を開けたと村は大騒ぎに。その後、柳氏の助言を得て「秘密にしておくばかりが大切にすることではない」と、祭りの日などに開帳することとなりましたが、お堂の老朽化、火災や盗難で貴重な文化財を逸失しないため、昭和47年からは岡谷市美術館で保存。ただし、現在も区の宝として、地域のふれあいの場などで公開の機会をつくり、区民の認知を深めています。



ワクチン同時接種のススメ

本年3月、小児用肺炎球菌やヒブなど、ワクチン同時接種後の死亡例が報告され、接種が中止されたことは記憶に新しいことです。

その後、ワクチンと死亡との因果関係は認められず、安全上の懸念はないとされ、4月から再開されました。しかし、いまだに同時接種を避ける保護者のみなさんが多いように思われます。

『ワクチン同時接種後に乳児死亡!?!』

これは同時接種が再開されて間もない、6月の新聞に掲載されたタイトルです。「同時接種が原因で死亡した」と言わんばかりなのですが、本文を読んでも同時接種との因果関係は書かれていません。関連があるかのように不安をおおって興味を引くのは、マスコミの常套手段じょうそうしゅんです。この報道を見て、多くの保護者のみなさんが、またも不安を覚えたことでしょうか。不幸にも、乳幼児突然死症候群じゅうりょうごつぜんしつこうぐんなど原因不明の病気で亡くなる乳幼児は、全国で毎日約1人います。乳幼児が受ける予防接種は10回以上ありますので、接種後数日以内に亡くなる乳幼児がいるのは、確率的にあり得ることです。同時接種が死亡の原因だと短絡的に考えるのはおかしなことで、現に同時接種が始まってから、乳幼児の死亡数はまったく増えていません。

同時接種は必要な医療行為

日本小児科学会の見解によると、

『同時接種は、諸外国では一般的に行われている医療行為である。乳児期においては重要なワクチン接種が複数回必要であり、必要なワクチンを適切な時期に適切な回数接種することが重要である。』

ワクチンの同時接種について現在わかっていることは、

①それぞれのワクチンの有効性が下がることはない。

②それぞれのワクチンの副反応の頻度が上がることはない。

③それぞれのワクチンの接種率が向上する。その利点としては、

①それぞれで予防できる疾患から、子どもたちが早期に守られる。

②ワクチンで予防できる病気が軽減する。これらのことから、ワクチンの同時接種は、

子どもたちをワクチンで予防できる病気から守るために必要な医療行為である。』

としています。

無責任な報道などに惑わされず、子どもさんのために、安心して同時接種を受けていただきたいと願っています。

(医師会)



白く輝く歯のために

古来より美人のたとえとして「明眸皓齒めいぼうこうし(澄みきった明るい瞳と白い歯)」と言われるように、白く輝く歯は清潔感や知性の象徴で、美しい笑顔をつくるためにも欠かすことができません。

しかし、生活をしていくなかで歯の周りにはさまざまな汚れが付きまします。コーヒー、茶しぶ、タバコのヤニなどによる外来性色素沈着や、むし歯、歯周病の原因となるプラーク(歯垢細菌のかたまり)などです。プラークはバイオフィルムと呼ばれるフィルム状の薄い膜におおわれ、しっかりと歯の表面にへばりついているため、通常の歯みがきでは、どんなに丁寧に磨いても、プラークの30~40%が残ってしまうと言われています。そしてこれに外来性の色素沈着が加わると、当然歯は黄ばんだ色になってしまうわけです。

着色しやすい飲食物・医薬品

1. ポリフェノールを多く含む食品
お茶、コーヒー、そば、大豆食品、ココア、チョコレート
2. タバコのヤニ
3. クロルヘキシジンやフッ化第一スズ
4. 漢方などの経口医薬品



着色やプラークなどによる汚れは、歯科医院で専門的なクリーニングを受けることによりきれいにする事ができます。クリーニング後に毎日のホームケアをしっかりと行うと、むし歯や歯周病のリスクも減り、健康で美しい歯を長く保つことができます。食生活は毎日のことですので、色素やプラークの付着を完全になくすことはできません。白く輝く歯のためには、1~3か月程度のサイクルで、定期的にクリーニングをされることをおすすめします。美しい笑顔をつくる第一歩として。(岡谷下諏訪歯科医師会)

問合せ●健康推進課(内線1183)

「こうずら ほうずら」は市民のみなさんでつくるページです。
 市政や広報に対するご意見や身近な話題など、どんどんお寄せください。
 宛先 ● 〒394-8510 岡谷市役所(住所不要) 広報情報課広報広聴(内線1366)



こえ

**11月の
てがみから**
 ▼は広報広聴担当より

市長が表紙!!と一つてもかっこよかったです。おばあちゃんがつく市長のことを応援していて期待しています。クイズの答えが「すわ湖太郎」ってことは何かイベントがあるのでしょうか。…広報を読み込んでいない証拠なので、もっと勉強したいと思います。

K・Kさん(本町)

▼11月号の今井市長の表紙、特集記事はいかがでしたか。広報は毎月の特集や、市民のみなさんにお知らせしたいことなどを、編集会議で決定し、作成しています。表紙もいくつか候補があるなかから選んでいます。表紙の第2候補となった写真やほかの行事写真など、

市役所1階のロビーに掲示してありますので、市役所に来た際にはご覧ください。これからも、わかりやすい情報の発信に努めていきますので、ご意見などお待ちしております。

あともう少しで高校生活が終わってしまいます。3年があつという間に流れて、何とも言えない気持ちです。今月は競歩大会もあるので、多くの思い出を作り、残り3か月、悔いのない高校生活にしたいと思います。

K・Tさん(川岸東)

▼月日が過ぎるのは早いもので、今年も残すところ1か月となりました。競歩大会は楽しめたでしょうか。高校卒業後は進学・就職と進路は別になりますが、学生時代の友達は一生モノです。素敵な思い出をたくさん作ってくださいね。

特集「今井市長に聞く!」のなかで新しい病院について色々な案がありました。市民のために心から接して下さる医師、看護師、スタッフをお願いしたいものです。

M・Mさん(川岸中)

▼新病院建設事業については、今井市長2期目の重点施策のひとつでもあります。新病院建設の基本構想を策定しましたが、今後も、市民のみなさんの声をできるだけ反映させるように進めていきたいと思えます。

岡谷湖畔公園の遊具について

岡谷湖畔公園の船型遊具は、平成5年に設置されたもので、18年を経過し、現在は劣化も激しく、使用不可能となりましたので、今年度更新することとなりました。

新たな遊具は、以前の船型のイメージを残しつつ、安全で楽しい機能が充実。来春の供用開始を目標に工事を進めています。工事中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

完成後は、多くの子どもさんに楽しく遊んでいただきたいと思えます。



完成予想図

問合せ●土木課(内線1319)

◆◆◆◆ 市政モニター通信 ⑭ ◆◆◆◆

《12月担当市政モニター 田村 澄枝さんより》

今まで買い物や通院などに出かける際は、自分で運転していましたが、年明けには後期高齢者のお仲間に入ることになり、これからの移動手段について考え直さなければ…と感じ始めていた矢先、11月21日よりシルキーバス湊・塩嶺病院線の運行開始が報じられて、自家用車でない通院手段が見つかりました。

湊はこれまでスワンバスが運行され、路線上には岡谷病院があります。湖畔病院・塩嶺病院に行くにはスワンバスからシルキーバスなどに乗り換えなくてはならず、通院にもお見舞いにも不便を感じていました。

今回のシルキーバスの乗り入れによって、3か所の病院に最寄りのバス停から直接行けるということは、大きな安心となりました。しかし、この湊・塩嶺病院線は試験運行ということで、利用客が少なければ続行とはいかないようです。

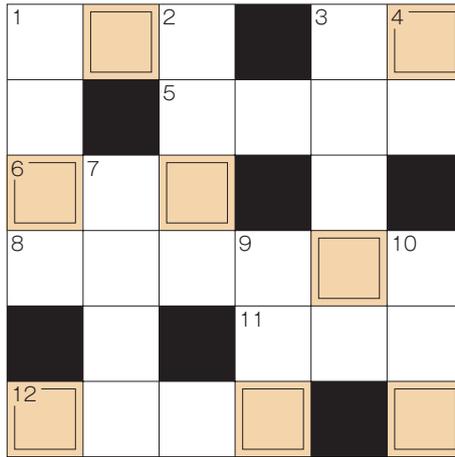
これからの季節、積雪や凍結の道を不安な気持ちで運転するより、地域公共交通総合計画により実現した新路線を、地域住民としてたくさん利用して大切にしていきたいと思えます。

脳トレにいかがですか？

広報クイズ No.312
クロスワードパズル

問題

二重枠の文字を並べ替えると岡谷に関する言葉ができます。それを教えてください。
正解者の中から抽選で5名にうなぎのまち岡谷共通利用券(500円分)をお送りします。



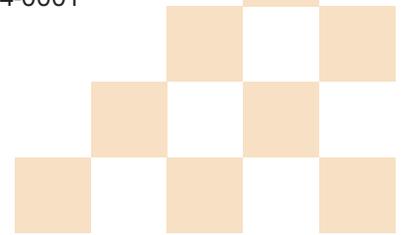
◆**ヨコのカギ**

- 1 ○○○岡谷と呼ばれた時代もありました
- 3 百万石
- 5 武井武雄作品に出てくる王様
- 6 岡谷のうなぎといえば、寒の○○○丑の日
- 8 岡谷では9月に数多く行われます
- 11 子どもが大きくなって家が○○○になったな～
- 12 獅子○○○○

◆**タテのカギ**

- 1 今井、西堀、若宮、中村
- 2 データをインターネット上に保存します
- 3 上州名物「かかあ天下と○○○○」
- 4 くちゃくちゃ
- 7 冬場は○○○○駆動の車が便利ですよね
- 9 ヨコ8はこの場合、延期になったりします
- 10 394-0001

- 応募方法…はがきに**答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号**を明記し、**ひと言**(市政や広報に対するご意見や身近な話題など)をそえて「〒394-8510 岡谷市役所(住所不要)広報クイズ係」までお送りください。**12月12日必着**。(ひと言は「こえ」に掲載させていただく場合があります)
- 前回(11月号)の答えと当選者「すわかたろう(すわ湖太郎)」
正解数46通(応募総数46通)のなかから抽選で、K・Kさん(本町)、K・Tさん(川岸東)、M・Mさん(川岸中)、S・Kさん(長地御所)、Y・Tさん(川岸東)にロマネット入浴券をお送りします。



世界 de Go! 岡谷市国際交流協会だより

www.oiea.jp Tel.24-3226



イングリッシュ・キャンプに行ってきました

9月10日(土)・11日(日)、国立信州高遠少年自然の家でイングリッシュ・キャンプが行われ、英語づけの楽しい2日間を過ごしました。

参加者の感想

★熊谷 利恵

国籍も年齢もバラバラな人たちが、英語でつながる。英語の楽しさ、コミュニケーションすることの楽しさを実感しました。

★小口 好子

和気あいあいとした雰囲気、期待通りの楽しいキャンプでした。アクティビティもバラエティに富んでいて、大変楽しい経験でした。ディスカッションもたくさんの人からいろんな意見が出たり、ネイティブの人たちの豊かな英語が聞けて、イングリッシュキャンプにぴったりでした。

★田中 文彦

楽しいアクティビティが満載で、レベルに関係なく英語に

触れることができました。海外の人とも交流でき、とても有意義な2日間でした。また参加したいです。

★今井かや乃

3回目の参加でした。今年も新しいメンバー、ティーチャーとの出会いがあり、あっという間の2日間でした。日本人だけでは、恥ずかしいとか目立ちたくないとか、自分の殻を破れない部分がありますが、イングリッシュキャンプでは英語を話すというだけでなく、言葉が完全に通じないなかでどうやって自分自身をアピールするかという、異文化体験



ができるのが醍醐味だと思いました。

